

(7) 下大和駅北側新公園

①舗装

【方針】

公園と高架下周辺が一体となり、広がりを感じられる舗装とします。

【デザインについて】

- ・高架下の広場や広幅員歩道の舗装と統一したものをを用いる等、一体的なデザインとする。
- ・舗装材は高架下周辺や公園の景観を考慮し、可能な範囲で高質なものを採用する。



②ファニチャー（全箇所共通事項）

【方針】

ベンチ等のファニチャーは、空間の広がりを感じられる控えめでシンプルなものに配置します。

【デザインについて】

- ・空間の広がりを感じられる控えめでシンプルなデザインとする。
- ・素材感が感じられ、利用してみたいくなるデザインとする。
- ・多様なイベントに対応できるよう移動可能なものを検討する。



③安全施設（全箇所共通事項）

【方針】

車止めや柵等の安全施設は、安全性を担保しつつ、控えめでシンプルなものに配置します。

【デザインについて】

- ・空間の広がりを感じられるように、控えめでシンプルなデザインとする。
- ・透過性が高く、景観を阻害しにくいデザインとする。



④植栽

【方針】

高架下周辺と一体となり、みどり豊かな公園空間を形成します。

【デザインについて】

A. 車道との緩衝帯となるみどり

- ・歩道の車道側に緩やかなマウンドを設け、中高木、低木、地被を中心としたボリューム感のあるみどりを配置し、みどり豊かな歩行空間を創出する。

B. 木陰や風景をつくるみどり

- ・広場や休憩場所に木陰や季節感を演出するみどりを配置し、うるおいと彩りの憩いの場を創出する。

C. 憩いの広場をかたちづくるみどり

- ・広場を芝生で植栽し、憩いの空間を創出する。



⑤サイン（全箇所共通事項）

【方針】

目立ちすぎずシンプルで効果的な案内や誘導を促すものを配置します。

【デザインについて】

- ・サインは地面や高架構造物の柱、店舗の壁等を積極的に活用して、支柱の省略化や集約化を行う。
- ・効果的に案内や誘導を促すために、統一のかつシンプルなものを基本とする。
- ・独立して設置する場合は、周辺環境に調和し、装飾的ではないシンプルなデザインとする。



⑥照明

【方針】

利用者の安全性に配慮した照度を確保し、住宅街や高架下周辺の景観に調和する照明を配置します。

【デザインについて】

- ・住宅街であるため、利用者の安全性を確保した最小限の照度を確保する。
- ・住宅街に調和するように、色温度は温かみのある電球色・暖色系とする（3,000K程度）。
- ・夜間でもファニチャーを利用しやすく、演出照明にもなるように、器具が目立ちにくいように配慮する。



※図や写真はイメージであり、確定したものではありません。